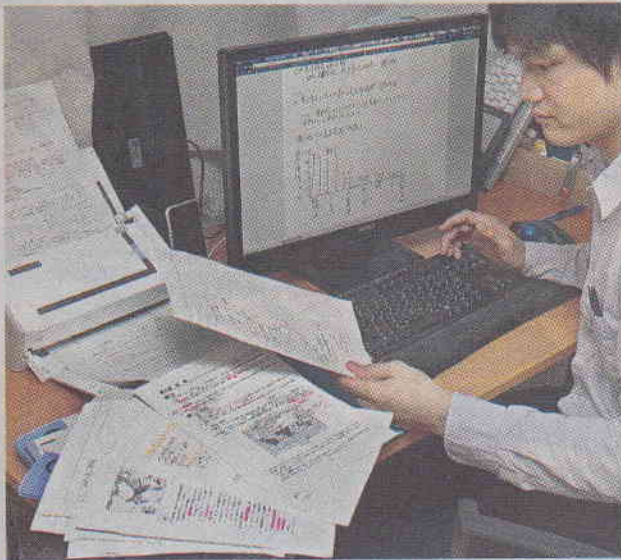


# 思い出クラウドに託す

学生時代のノートデータを取り込みネット上に保存する都内の会社員



インターネット経由でコンピューターサービスを受ける「クラウドコンピューティング」を利用して、画像データなどを保管する消費者が増えている。対象はデジタルカメラで撮った写真から、手書きの日記など本来はアナログのデータにも広がる。東日本大震災でアルバムや写真が被害を受けたことが利用に拍車をかけたようだ。様々な財を手元に置かない「持たざる生活」が、思い出の品々にも及んでいる。



## 写真・日記、オンライン保存

### 「失ってしまおう」不安解消

東京都文京区の男性会社員(27)は昨年冬に茨城県の実家に帰った際、学生時代のノートなどが入った段ボールの山を前にクラウドでの保存を思い立った。「火事が起きたら、将来役立つかもしれない思い出が消えてしまわない思い出が消えてしま

まっ」と考えたからだ。正月はスキヤナーで写真やノート、日記のデジタルデータ化に専念。写真を約600枚、ノートなど段ボール4〜5箱分を保存した。「パソコンが壊れてもデータが失われない安心感がある。友

人や家族と共有できるのもメリット」。残り7箱もも保存するつもりだ。利用するのは米グーグルの写真管理サービス「Picasa(ピカサ)」と米ドロップボックス「Dropbox(ドロップボックス)」。それぞれ1ギガは10億、2ギガまでの保存は

無料で、それ以上は有料(ドル建て)となる。同様のサービスの利用者は着実に増えている。日本ヒューレット・パッドカード(HP)の「Snapfish(スナップフィッシュ)」は1〜5月に新たに保存された画像枚数が前年同期の2倍近くに。不測の事態に備

えたいという人が増えたほか、「写真検索が容易でプリントの注文もしやすい点がうけている」と同社ではみている。保存データをアルバム形式にするサービスもある。キタムラの「マイフォトボックス」は写真をアルバムにした「フォトブック」作成やポストカードの注文を有料で受け付ける。保存は500ギガ(メガは100万)まで無料。2011年5月の利用は前年同月より5割増えた。ペーパーボーイ&コー(東京・渋谷)では「震災後、写真保存の問い合わせが増えた」。オンラインアルバムを作る「30デイズ・アルバム」は5月の新規利用者数が前年同月の2倍の6千人と過去最高に達した。

#### クラウドでの主な保管サービス

サービス名 (運営企業)	料金体系
Picasa (米グーグル)	1ギガまでの保存は無料。それを超えると20ギガまでは年間5ドル。以降、80ギガまで同20ドル、200ギガまで同50ドル
Dropbox (米ドロップボックス)	2ギガまで無料。月額9.99ドルもしくは年99ドル支払うと50ギガまで保存可能
Snapfish (日本HP)	有料のプリントサービス(L版なら1枚12円、送料別)を年に1回でも利用すれば容量無制限・無料で使える
マイフォトボックス (キタムラ)	500ギガまでの保存は無料。これを超えると2ギガまで月額315円、それ以上は容量に応じ従量課金
30デイズ・アルバム (ペーパーボーイ&コー)	フリープランはアルバム3部(1部に画像500枚以内)まで無料作成。12カ月・24カ月契約の有料プランは月額315円で何部でもアルバムを作成可能(1部に2000枚以内)